

明石港の利活用計画

早期策定は困難

今後とも検討続ける

問 明石港周辺の在り方を具体的かつ総合的に示す明石港周辺利活用計画については、平成27年度に策定する予定だったが、いまだ報告はない。計画策定の進捗状況と、フェリー乗り場跡地についての市の考えを聞く。

答 この計画は、16年に港湾管理者である県との協議で、港の整備についてはは長期的に取り組む課題と位置付けた経緯や、市の厳しい財政状況からみても、現状において早期に示すことは難しいと考えている。しかし、明石港は、

海のまち明石を象徴する重要な地域資源と認識している。このため、明石市中心市街地活性化基本計画において、再開発事業による駅前

的な明石港の在り方については、県や関係団体等との情報共有や意見交換を行っていくつもりだ。
また、フェリー乗り場跡地は民間企業の所有のため、土地利用について景観の配慮や中心市街地のにぎわいに助けとなるよう要請を行っている。



フェリー乗り場跡地と砂利揚げ場

危険な老朽空き家 除却支援開始へ 建物の有効活用も検討

問 平成25年度に空き家実態調査を実施し、早期の対策が必要と判断された危険な老朽空き家40棟への対応について聞く。

答 本市では、危険と判断した老朽空き家40棟に対してパトロールを行い、老朽化の進行について確認を行っている。その中でも倒壊等の危険性が高く、所有者が判明しているものについては指導を行い、1棟が除却されている。持ち、海をテーマにした環境学習に取り組んでいけるよう働きかけ

また、国において空き家等対策の推進に関する特別措置法が制定されたことで、固定資産税の課税情報を活用できるようになったことから、現在、危険な老朽空き家の所有者の特定作業を行っている。しかし、所有者の経済的な事情により除却が進まない状況もあることから、危険な空き家を所有者自らが除却する場合に、工事費の3分の2を補助する除却支援事業を7月から実施していく予定だ。

また、空き家を含む中古住宅が有効活用されることは、地域の活性化に役立つだけでなく、危険な老朽空き家を増やさないことにもつながることから、今後、他市の事例の調査を行い、空き家の活用に向けた施策の検討も行っていく。

毎年来てね ウミガメ産卵のため 美しい海岸の保全を

問 昨年は6年ぶりに本市でウミガメの上陸・産卵があったが、本年のウミガメ保護の取り組みを聞く。また、これを活用した教育の取り組みについても聞く。ウミガメは産卵の場

所として静かで明かりの少ない海岸を好むため、例年どおり夜間照明の消灯など上陸環境を整えるとともに、ウミガメに関する情報を24時間体制で受け付け、現場対応を迅速に実施できるように体制を整えている。また、ウミガメが帰ってくることを願い、市民ボランティアに美しい海岸の保全のため清掃を実施していただいているところだ。

また、ウミガメの産卵は単に環境問題にとどまらず、命の大切さや人と自然の共生を学

ぶ貴重な環境教育の場と捉えており、本市では、環境教育の取り組みとして、小学校3年生において環境体験学習を行っている。さらに、産卵のあった海岸の清掃活動を予定している中学校もある。

今後とも、子どもたちがウミガメの産卵を契機として、海の環境保全に興味を



海へ向かって一直線（平成26年8月撮影）

兵庫県後期高齢者医療 広域連合議員を選出

後期高齢者医療制度に基づき設置された兵庫県後期高齢者医療広域連合議会は、県内の各自治体から1人ずつ選ばれた議員で構成されています。

明石市では選出議員の任期満了に伴い、副市長である和田満氏（60歳・貴崎3丁目）を選出しました。

なお、任期は副市長職の任期である平成28年7月9日までです。

傍聴へ行こう

中学2年生のじょうくん、市議会事務局職員のれいさんが、本会議の傍聴をご案内します。

1 明石市議会
ここが議会棟だね

2 本会議場は3階だね

3 傍聴へようこそ

4 市議会事務局
まずは受付をしてねこっちょ

5 受付に到着

6 受付簿に住所・氏名年齢を記入

7 階段を上がっていざ傍聴席へ

8 傍聴席からはこんな風に見えるんだ

9 寝ちゃダメ
なんだか疲れたなあ

10 本会議、委員会の傍聴は、議員の質問や議案の審議など市議会の活動を知る良い機会です。お気軽にお越しください。

